

陽炎5型取り扱い説明書

概要について

陽炎5型は SYSTEMA PTW M4A1 用の FCU です。
SYSTEMA 純正の FET 基板と制御基板を陽炎5型に換装してご使用頂けます。

付属品について

● 陽炎5型 制御基板、FET 基板、FET 制御ケーブル(FET 基板に接続済み)	1セット
● ヒューズ(35A)	1個
● 熱収縮チューブ(Φ3)	1本
● ヒューズ接続用ファストン端子	2個
● ディーンズコネクタ(極性表示あり)	1個
● トリガーフィッティング用プラペーパー(0.1mm、0.2mm)	各1枚

流用部品について

SYSTEMA 純正の FET 基板を固定しているネジ、スペーサ、絶縁シート、ヒートシンクを流用します。
SYSTEMA 純正のセレクター基板を流用します。

配線の接続について

陽炎5型の FET 基板から出ている赤と黒のシリコンコードはバッテリーに繋がります。
FET 基板とバッテリーの間にヒューズを必ず取り付けてください。

陽炎5型の FET 基板から出ている銀色のコードはモーターへ繋がります。
長いコードが(+)、短いコードが(-)になります。

陽炎5型の FET 基板から出ている細い赤い線のコネクタ(5P)は陽炎5型の制御基板に取り付けます。

ディーンズコネクタの注意点

コードをハンダ付けする必要があります。
付属のディーンズコネクタには極性表示があります。
(+)にシリコンコードの赤、(-)にシリコンコードの黒を接続してください。
ハンダ付けした部分が十分な結合強度があるか確認してください。
ハンダ付けした部分は熱収縮チューブで確実に絶縁してください。

使用可能バッテリーについて

下記のバッテリーが使用できます。

- ニッケル水素バッテリー(上限14.4V)
- リポバッテリー(3セル)
- リポバッテリー(2セル)

トリガーフィッティング用プラペーパーについて

トリガーとギヤボックスの固体差でスイッチの押し量が異なり、固体によってはスイッチが ON にならない場合があります。
付属のプラペーパーをトリガー側に接着して押し量を調整してください。
0.1mmでも押しすぎてしまう場合は接着したプラペーパーをヤスリ等で削って調整してください。

自動セルフチェックについて

バッテリーを接続すると下記項目の自動でチェックします。

- リポバッテリー設定の場合は3セル、2セルのチェックを行います。
- 使用可能バッテリー以上の電圧の場合はバッテリー高電圧エラーとなります。
- バッテリーの電圧が低すぎる場合はバッテリー低電圧エラーとなります。

自動セルフチェック後のブザーについて

自動セルフチェックで問題がなければブザーで接続されているバッテリーを通知します。

- ブザー1回 ニッケル水素
- ブザー2回 リポバッテリー(2セル)
- ブザー3回 リポバッテリー(3セル)

ブザーとLED 点灯について

エラーと警告をブザーとLED で通知します。

ブザーはモーターの微振動で鳴らしているので、高電圧エラー時は鳴りません。

- | | | | |
|----------------------------|----------|-------------------------|-------|
| ● バッテリー高電圧エラー | ブザー:なし | LED:..... | |
| ● バッテリー低電圧警告 | ブザー:長く1回 | LED:----- | |
| (ブザーはトリガーを引いたときに一度だけ鳴ります。) | | | |
| ● バッテリー低電圧エラー | ブザー:3回 | LED:_____ | |
| ● オートオフ(カットオフ未検出) | ブザー:3回 | LED:- . - . - . - . - . | |

使用上の注意

万が一、異臭など感じたら、直ちに使用を中止してバッテリーを外してください。

開発・製造・販売元
不知火 <http://jp-shiranui.com/>
G.A.W. <http://gaw-airsoft.shop-pro.jp/>

SYSTEMA は SYSTEMA 社の登録商標です。

PTW は SYSTEMA 社の登録商標です。